

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2022年 6月 27日	
愛知県知事 殿	名古屋市東区東桜1丁目1番10号 (アバンネット名古屋ビル) 大同特殊鋼株式会社 代表取締役社長執行役員 石黒 武 住所 愛知県東海市元浜町39番地 提出者 大同特殊鋼株式会社 生産本部 知多工場 氏名 執行役員 永谷 哲洋 生産本部知多工場長 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0562-33-3529
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	知多第2工場
事業場の所在地	愛知県知多市北浜町11番20
計画期間	2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	22：鉄鋼業
②事業の規模	9,955百万円
③従業員数	59名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚泥(排水汚泥)→中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分</li> <li>汚泥(清掃汚泥)→自社(知多工場)に運搬・天日乾燥後に、埋立処分委託</li> <li>または中間処理後(混錬)に、埋立処分</li> <li>・廃プラ→中間処理業者に委託して選別後、再資源化</li> <li>・木くず→中間処理業者に委託して破碎後、再資源化</li> <li>・がれき類→最終処分業者に委託して最終処分</li> <li>または中間処理後(破碎)に、再資源化</li> <li>・廃油→自社(知多工場)に運搬・油水分離後、中間処理委託、再資源化</li> </ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 本社環境部   知多工場長 (統括責任者)   └─ 知多工場環境委員会   環境室長 (管理責任者) └─ 産業廃棄物処理責任者		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(2022年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	213.33 t
	廃プラ	3.99 t
(これまでに実施した取組) ・場内側溝の清掃(汚泥)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	200 t
	廃プラ	12 t
(今後実施する予定の取組) ・廃プラ新規生産設備稼働により増加の見込み。		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
汚 泥	①現状	【前年度（2022年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（2022年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	132 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・知多第2工場から知多工場への運搬			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		100 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)				

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	全処理委託量	81.33 t	3.99 t
	優良認定処理業者への処理委託量	81.33 t	3.99 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	3.99 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	全処理委託量	100t	12t
	優良認定処理業者への 処理委託量	100t	12t
	再生利用業者への 処理委託量	50t	12t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への委託推進(汚泥)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	排出量	50.34 t	2,422.11 t
	(これまでに実施した取組) ・ 建設工事によるがれき類発生(一過性)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	排出量	50 t	3,000 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 建設工事によるがれき類発生(一過性)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	50.34 t	2,422.11 t
	優良認定処理業者への処理委託量	50.34 t	2,422.11 t
	再生利用業者への処理委託量	50.34 t	2.65 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		



②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	50 t	3,000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	50 t	3,000 t
	再生利用業者への 処理委託量	50 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	排出量	6.3 t	0.58 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	排出量	60 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・廃油、新規生産設備稼働により増加の見込み。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	6.3 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	全処理委託量	0 t	0.58 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.58 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.58 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・優良認定業者への委託推進		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	ガラス類
	全処理委託量	60 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	60 t	1 t
	再生利用業者への 処理委託量	60 t	1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者への委託推進を継続する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。